

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和4年4月～6月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」。令和4年4月～6月期の総合業況DIは▲30と、前期▲33から3ポイントの改善。

業種別では、飲食業・サービス業が▲20（前期差10ポイント増）と大幅に改善した。製造業が▲31（前期差3ポイント減）、小売業・卸売業が▲45（前期差2ポイント減）とやや悪化した。建設業は▲38（前期差±0ポイント）で、前期と同様であった。

年始から広がった新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の影響がやや収まり、前期悪化した飲食業・サービス業の業況が改善に転じた。前期、中国のロックダウンの影響が大きかった製造業や建設業、小売業・卸売業は、円安やロシア／ウクライナの影響により原材料・資材・燃料費の高騰のため、厳しい状況が続く。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲19	▲13	▲27	▲28	▲16
採算	▲35	▲41	▲41	▲46	▲24
仕入単価	▲68	▲89	▲83	▲76	▲46
販売単価	8	10	▲8	26	7
従業員	18	17	25	15	18
資金繰り	▲21	▲22	▲26	▲29	▲16
今期業況 (総合判断)	▲30	▲31	▲38	▲45	▲20
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 DI値 31以上	 DI値 30～11	 DI値 10～▲10	 DI値 ▲11～▲30	 DI値 ▲31以下	前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和3年7月～ 9月期					
2四半期前 令和3年10月～ 12月期					
1四半期前 令和4年1月～ 3月期					
今期 令和4年4月～ 6月期					






今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和4年4月～6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)






小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲35で天気図は「雨」。飲食業・サービス業は、▲24(前期差11ポイント増)と前期の悪化傾向から回復傾向に転じた。製造業は▲36(前期差4ポイント増)で若干の改善が見られた。建設業は▲39(前期差1ポイント増)は前期並みで、小売業・卸売業も▲51ポイント(前期差2ポイント減)も、前期並みのまま厳しい状況が続いている。



	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲27	▲16	▲28	▲44	▲25
採算	▲39	▲42	▲42	▲50	▲29
仕入単価	▲67	▲84	▲83	▲76	▲39
販売単価	3	5	▲12	19	4
従業員	14	18	26	6	8
資金繰り	▲27	▲28	▲27	▲34	▲22
今期業況(総合判断)	▲35	▲36	▲39	▲51	▲24
今期業況 天気図					

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和4年4月～6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲21と前期の▲22から1ポイント改善し、天気図は「小雨」。飲食業・サービス業が▲5(前期差19ポイント増)と大幅に改善し天気図が「薄曇り」に転じた。製造業は▲23(前期差13ポイント減)、建設業は▲33(前期差8ポイント減)と、悪化が進んだ。小売業・卸売業は▲35(前期差2ポイント減)で前期並みであった。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲6	▲7	▲17	▲2	▲2
採算	▲29	▲40	▲39	▲39	▲6
仕入単価	▲70	▲95	▲83	▲78	▲15
販売単価	17	17	22	37	4
従業員	25	15	17	30	11
資金繰り	▲13	▲11	▲17	▲20	▲3
今期業況(総合判断)	▲21	▲23	▲33	▲35	▲5
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	






次期見通し業況天気図






次期見通し業況天気図

令和4年7月～9月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

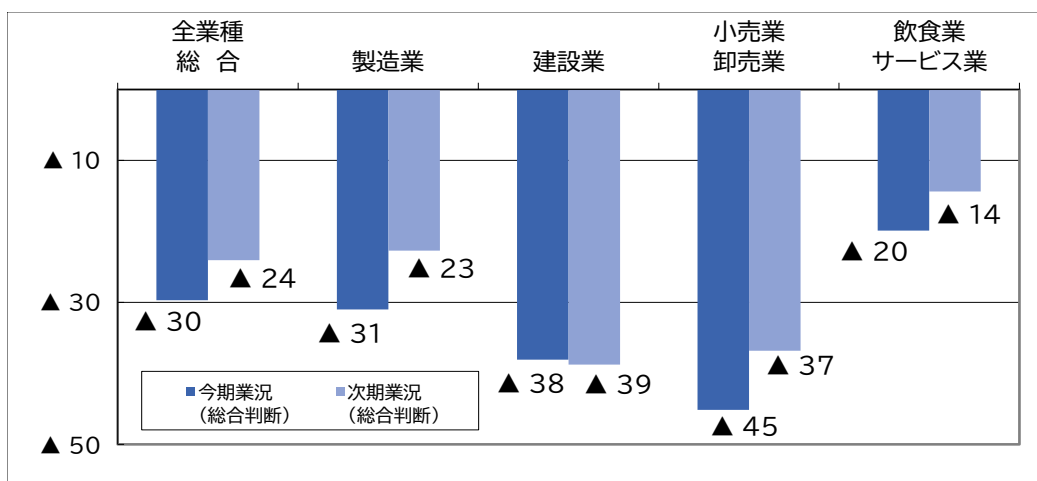
全産業の次期見通しの天気図は、▲24(今期差6ポイント増)で「小雨」と、若干改善の見込み。

産業別にみると、飲食業・サービス業は▲14(今期差6ポイント増)で、引き続き改善が進むと期待される。製造業は▲23(今期差8ポイント増)と小売業・卸売業は▲37(前期差8ポイント増)で改善の見込みである。建設業は▲39(今期差1ポイント減)は、今期並みで、厳しい状況が続くと考えられている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲12	▲8	▲25	▲22	▲5
採算	▲23	▲23	▲38	▲35	▲13
仕入単価	▲59	▲76	▲78	▲60	▲41
販売単価	7	13	▲1	18	1
従業員	16	12	27	11	17
資金繰り	▲19	▲17	▲26	▲28	▲13
次期業況 (総合判断)	▲24	▲23	▲39	▲37	▲14
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和4年7月～9月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは▲28(今期差7ポイント増)で、天気図は「小雨」。産業別にみると、飲食業・サービス業は▲17(今期差7ポイント増)、製造業は▲26(今期差10ポイント増)で引き続き改善が進む見込み。小売業・卸売業は▲39(今期差12ポイント増)と改善に転じる予想である。建設業は▲40(今期差1ポイント減)で、厳しい状況が続くと思われる。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲19	▲16	▲26	▲34	▲9
採算	▲28	▲26	▲40	▲39	▲17
仕入単価	▲60	▲74	▲78	▲63	▲37
販売単価	3	10	▲2	16	▲3
従業員	13	14	26	6	8
資金繰り	▲23	▲23	▲28	▲32	▲17
次期業況(総合判断)	▲28	▲26	▲40	▲39	▲17
次期業況 天気図					

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和4年7月～9月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲17(今期差4ポイント増)で、「小雨」の予測。産業別にみると、飲食業・サービス業は▲5(今期差±0ポイント)で「薄曇り」のまま推移。製造業が▲17(今期差6ポイント増)と改善が進む。小売業・卸売業は▲33(今期差2ポイント増)と、建設業は▲33(今期差±0ポイント)は、今期並みで回復が遅れる見込である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	0	6	▲17	0	0
採算	▲16	▲19	▲28	▲30	▲3
仕入単価	▲58	▲81	▲78	▲56	▲13
販売単価	11	17	6	22	2
従業員	21	9	28	20	11
資金繰り	▲11	▲8	▲11	▲20	▲3
次期業況(総合判断)	▲17	▲17	▲33	▲33	▲5
次期業況 天気図					

業況天気図凡例				
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下

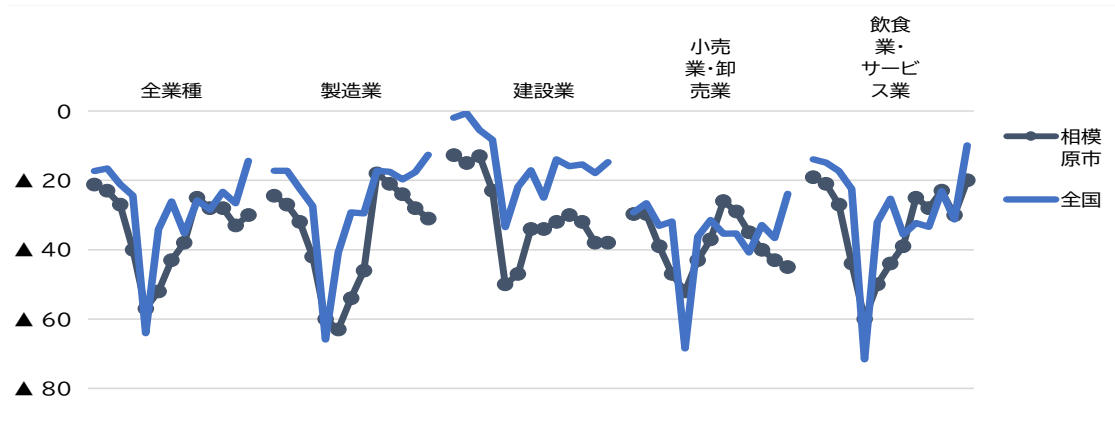
<<景気観測調査>>
前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

業況DIの推移

業況DI(前年同期比)の推移

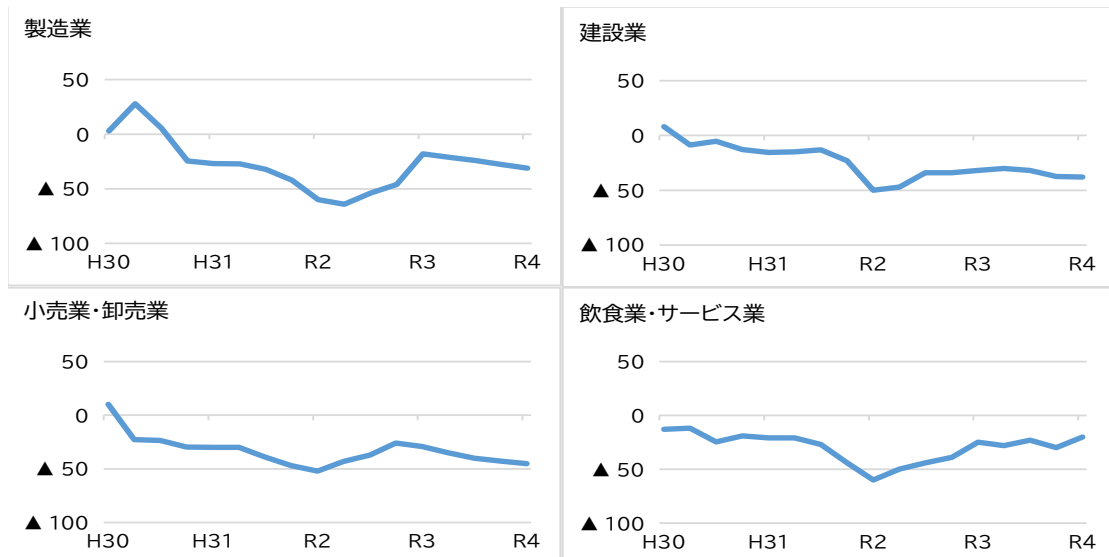
全産業の業況DIは、前期▲33から▲30(前期差3ポイント増)と若干の改善。
 産業別にみると、飲食業・サービス業のみが、▲20(前期差10ポイント増)と改善。製造業が▲31(前期差3ポイント減)、建設業は▲38(前期差±0ポイント)、小売業・卸売業は▲45(前期差2ポイント減)と、前期と同様で低位の景況が続いた。
 全国と比較すると、製造業、小売業・卸売業で業況の差が全国と開き、さらに悪化している。建設業は長期に渡って全国よりも悪い業況が続く。

(令和元年4-6月期～令和4年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI（特徴的なトピックス）

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・仕入れ額の上昇がとても激しく倍になるものもでてきている。【弁当、惣菜等製造販売】
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンに半導体部品需要逼迫、世界情勢の不安定など複合的な要因で材料や仕入部品の大幅な価格高騰、アイテムの不足が著しい。販売価格に材料等の上昇分をスムーズに転嫁し、不足アイテムの代替品や新たな仕入先ルートの開拓が重要となる。【省力化装置及び溶接・組立治具の設計製作】
- ・機械老朽化に伴い設備投資をしたく、金融機関に相談するものの、なかなか良い返事がいただけず、設備に苦慮しております。【精密機械部品加工】
- ・やっとコロナ禍から徐々に抜け出してこれからと言う時にロシアのウクライナ侵攻にて、先行き不安、買い控え、コスト上昇とお客様の財布は控えめ。今こそ日本産を国内でどんどん買って、食べてと地産地消で経済を回すキャンペーンをしてほしい。日本文化生産品購入割のような。【畳製作施工】

【建設業】

- ・鉄筋工事業界としては、建設現場の数が多い状況です。これからさらに物件数が増加し、労務不足になる予定です。新規引合いをいただいても工事が請け負えない状況です。また、材料の高騰が大きすぎ、かつ上昇速度が速すぎて請負金額に全てが反映できていないです。状況的にはかなり厳しい状況です。【鉄筋工事業】
- ・建材、電材の品薄、単価上昇がいつまで続くのか不安を感じ始めている。退出後リフォーム工事が完了しても給湯器交換ができないために入居者募集ができない部屋が3月以降徐々に増えている。【賃貸管理、トランクルーム貸し出し、リフォーム工事、不動産売買仲介】
- ・ロシアからの木材等が入らなくなってきた関係で材料仕入単価が上昇している。先行きがわからない。ガソリン価格の高値も厳しい。【UR団地修繕】
- ・新規雇用が非常に厳しい。【移動体基地局工事・保守】

【小売業・卸売業】

- ・生鮮食料品を取り扱うので、天候に左右されます。夏にかけてラニーニャ現象が続く可能性が高いという発表なので心配しています。【生鮮野菜卸売】
- ・新車納期が不安定なためか、中古車の仕入れがあがり顧客の買い控えが増えています。【自動車販売】
- ・コロナ禍によって出かけることが減り、衣料品は安くても良いとの認識が広まっている。【衣類、化粧品】
- ・SNS時代に中々ついていけない。【化粧品、エステ技術等】

【飲食業・サービス業】

- ・旅行需要の回復が始まっていますが、マイクロツーリズムの流れが強くと販売単価は低い。また海外旅行は戻っていない。【旅行業】
- ・夜の営業時間での売上が伸びない。人がいない。【ラーメン店】
- ・保険診療が中心のため、特に問題点はない。【訪問診療と外来診療による医療の提供】
- ・雇用に関しては他業種からの流入が多いと感じています。これ以上最低賃金が上昇してしまうと、一人当たりの業務負担の増加が見込まれ、適切な介護人員の確保が困難になってしまうことが懸念されます。【介護事業】
- ・移動の多い仕事なのでガソリン値上げがキツイ。【音楽スクール、イベント企画運営、楽曲提供】
- ・企業の販促活動が盛り上がらない。販促ツールの製作依頼が低迷している。【グラフィックデザイン・編集・印刷・サイン・ホームページ制作等】

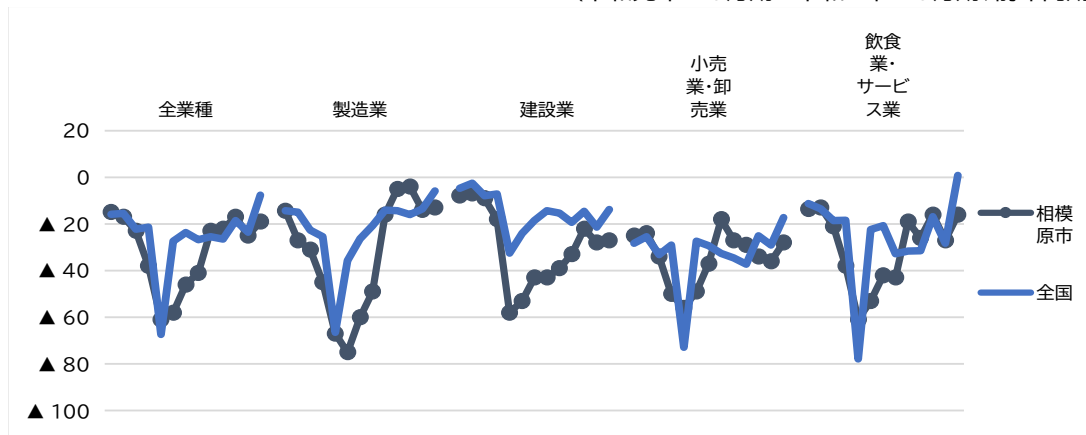
売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲25から▲19(前期差6ポイント増)と、やや改善した。産業別にみると、飲食業・サービス業は▲16(前期差11ポイント増)、小売業・卸売業は▲28(前期差8ポイント増)と、半年前のレベルまで改善。製造業は▲13(前期差1ポイント増)、建設業は▲27(前期差1ポイント増)と前期同様の状況であった。

前期オミクロン株拡大により悪化した飲食業・サービス業と小売業・卸売業の売上は、回復傾向に転じた。製造業と建設業は、売上回復は足踏みの状況である。

全国と比較すると、当市のほうが全業種でDIが低くなっている。

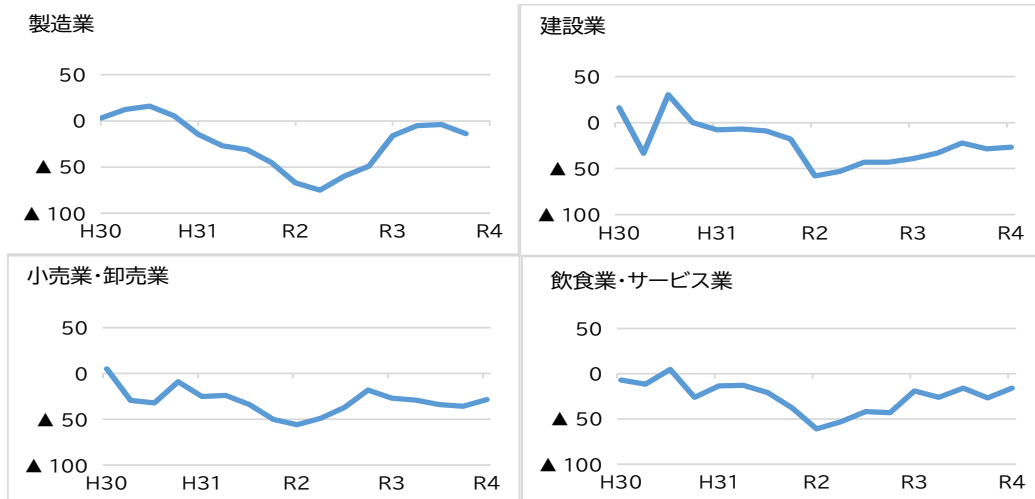
(令和元年4-6月期～令和4年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

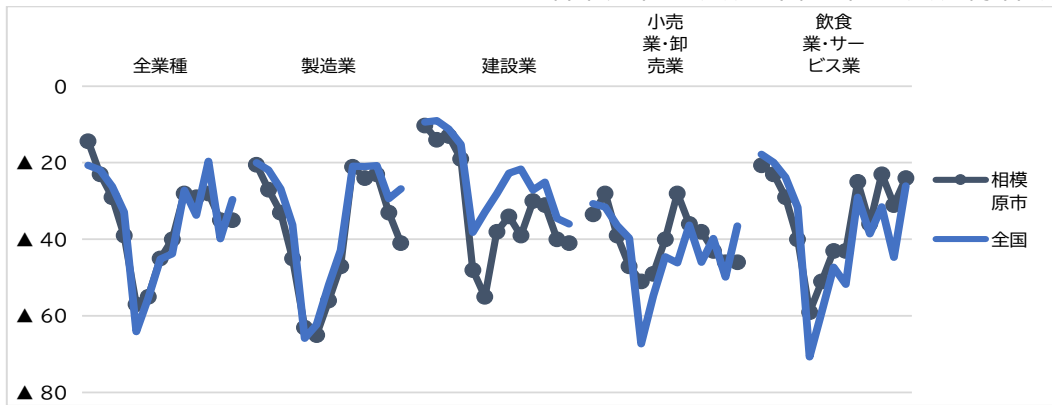
全産業の採算DIは、▲35(前期差±0ポイント)と変化がなかった。

産業別にみると、売上が回復した飲食業・サービス業が▲24(前期差7ポイント増)と採算も改善した。製造業が▲41(前期差8ポイント減)は前期に続き悪化が続く。建設業は▲41(前期差1ポイント減)、小売業・卸売業が▲46(前期差±0ポイント)で、低位のまま推移している。

飲食業・サービス業は、採算性が改善。製造業と建設業は部品・資材不足と価格高騰のため採算性が引き続き悪化している。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、製造業と小売業・卸売業は全国よりも悪い状況である。建設業と、飲食業・サービス業の採算DIは全国と同様である。

(令和元年4-6月期～令和4年4-6月期、前年同期比)

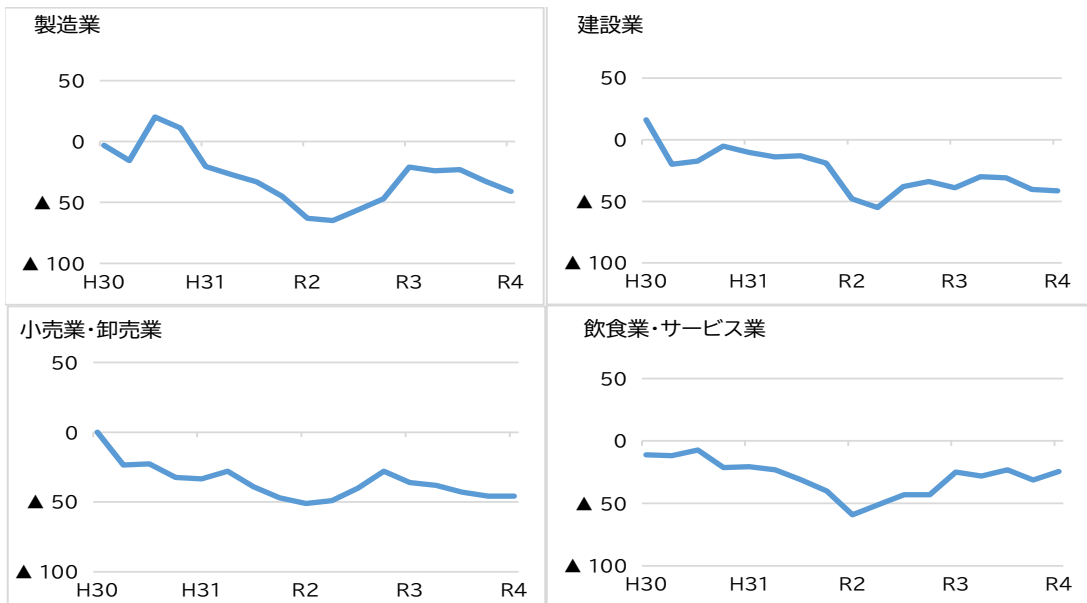


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

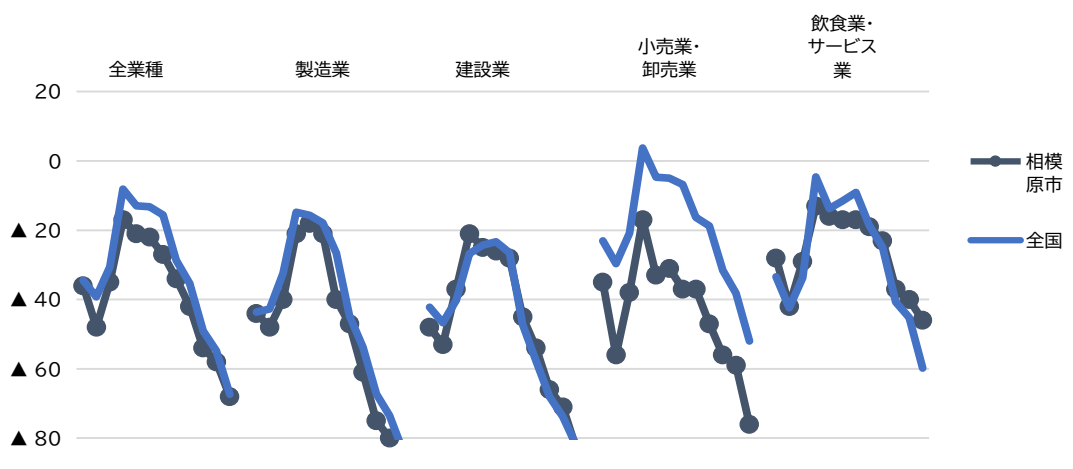


仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは▲68(前期差10ポイント減)で、前期よりもさらに悪化した。産業別にみると、製造業は▲89(前期差9ポイント減)、建設業は▲83(前期差12ポイント減)と、大幅な原料・資材価格上昇が続いており、非常に深刻な状況である。小売業・卸売業も▲76(前期差17ポイント減)と大幅に悪化し、大多数の事業者が仕入額上昇の影響を受けている。飲食業・サービス業についても▲46(前期差6ポイント減)と、値上がりの影響が深刻になりつつある。

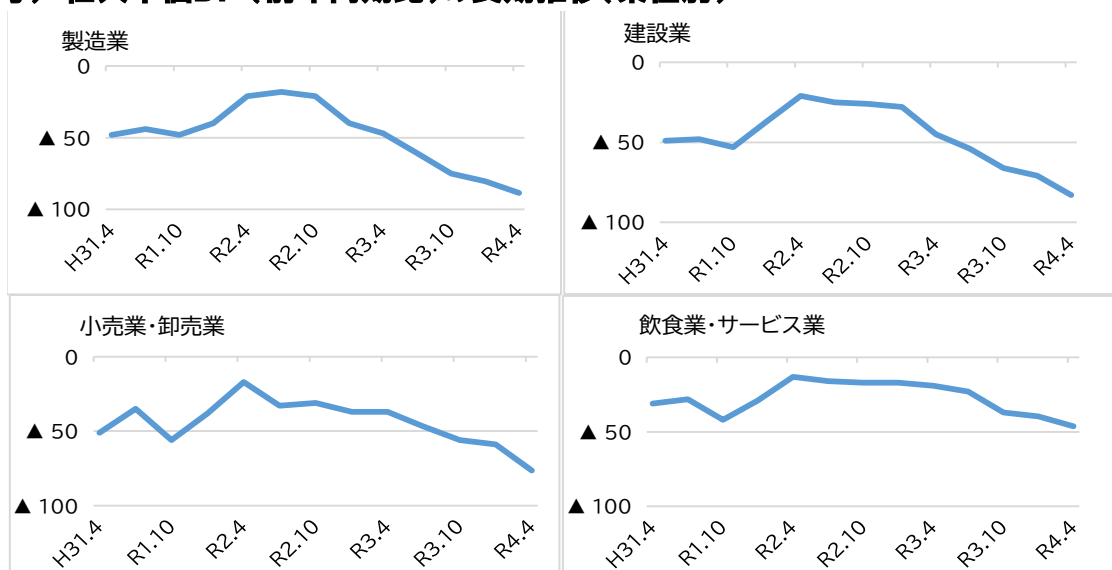
全国の状況と比較すると、小売業・卸売業において仕入単価の高騰が全国よりも深刻となっている。

(令和元年7-9月期～令和4年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落-上昇、中小企業庁は「上昇-低下」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



販売単価DIの推移

販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、8(前期差7ポイント増)とやや増加した。

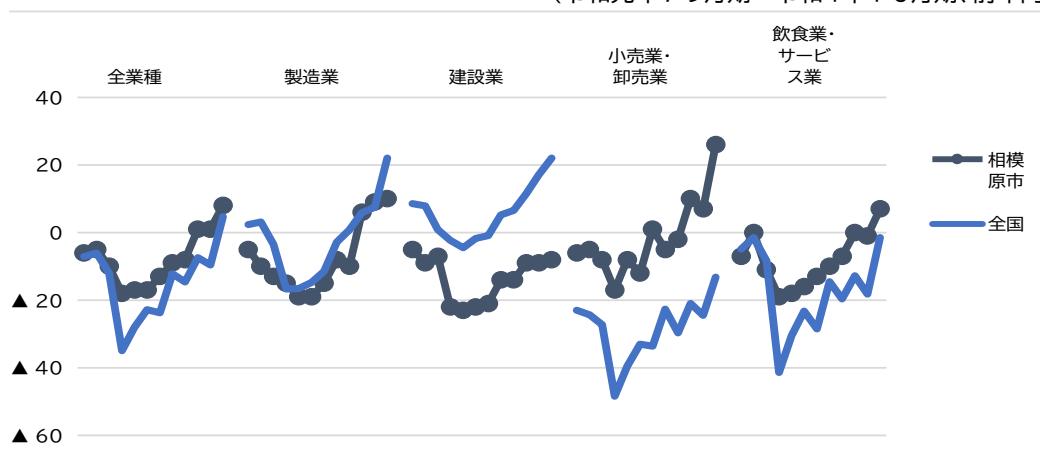
産業別にみると、小売業・卸売業が26(前期差19ポイント増)、飲食業・サービス業が7(前期差8ポイント増)と価格上昇が進んだ。

製造業で10(前期差1ポイント増)だった。建設業は▲8(前期差1ポイント増)と前期からあまり増加していない。

小売業・卸売業と飲食業・サービス業などにおいて、仕入単価上昇に対して、消費者向けの商品価格転嫁が進み始めている事がわかる。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、建設業の価格競争は全国より厳しい状況が続いている。小売業・卸売業は全国に比べて販売単価DIが大幅な増加となっている。

(令和元年7-9月期～令和4年4-6月期、前年同期比)

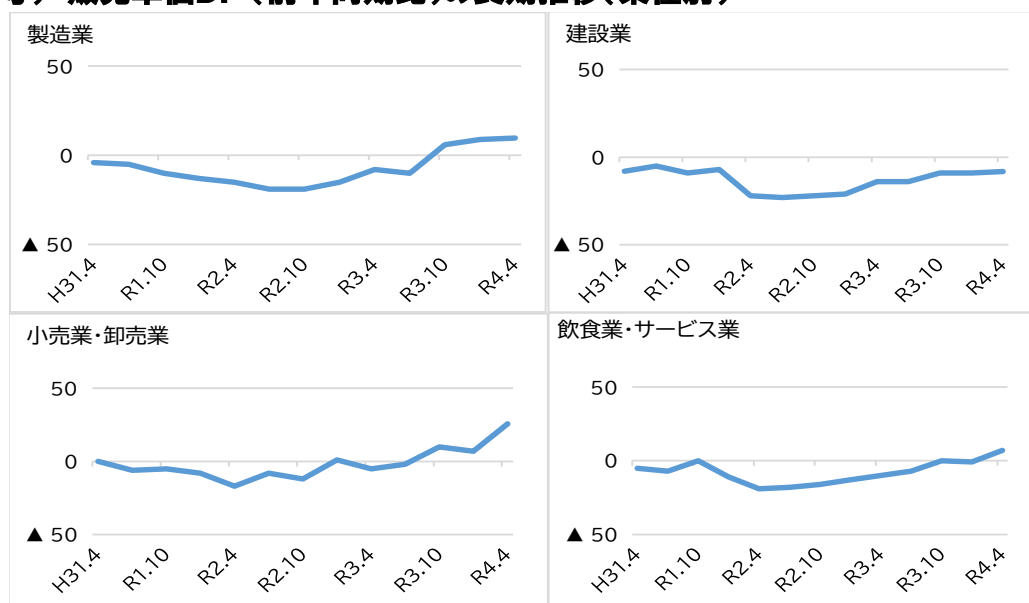


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和4年6月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



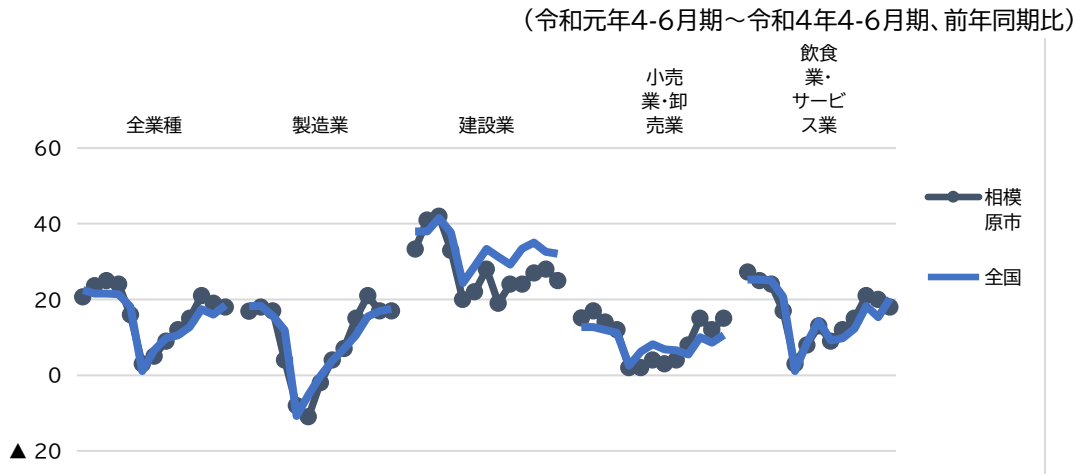
従業員DIの推移

従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、18(前期差1ポイント減)で、前期並みであった。

産業別では、小売業・卸売業が15(前期差3ポイント増)、建設業は25(前期差3ポイント減)、飲食業・サービス業は18(前期差2ポイント減)、製造業は17(前期差±0ポイント)と、全業種であまり動きはなかった。業種別の人手不足感は差がなくなっている。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、いずれの業種も全国と同様なDI値の傾向となっている。



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

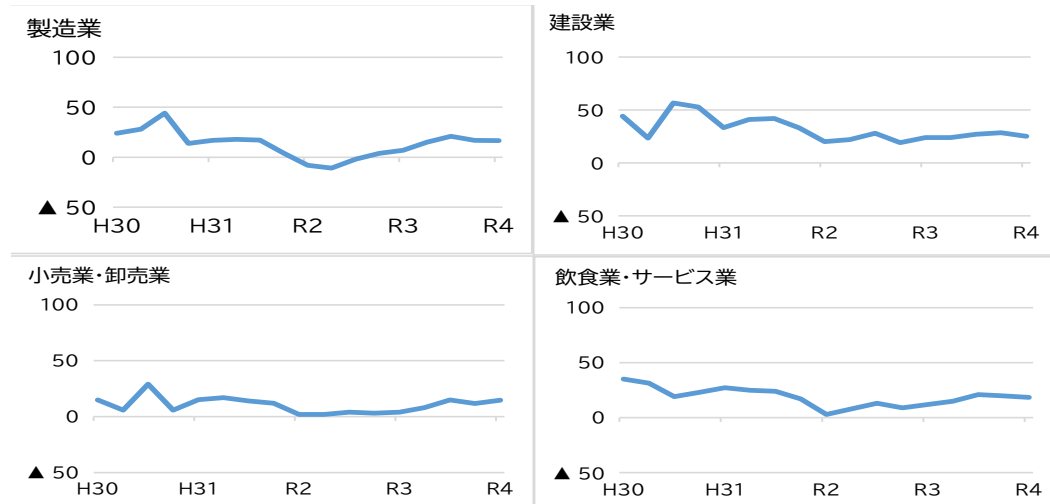
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDI(前年同期比)の推移

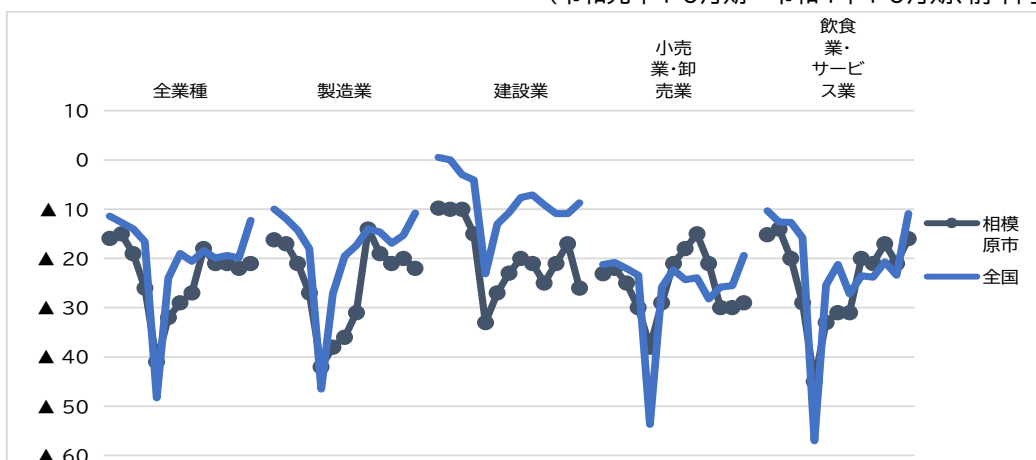
全産業の資金繰りDIは、▲21(前期差1ポイント増)と前期並みであった。

産業別にみると、飲食業・サービス業は▲16(前期差5ポイント増)とやや改善した。小売業・卸売業は▲29(前期差1ポイント増)、製造業は▲22(前期差2ポイント減)で前期並であった。建設業は▲26(前期差9ポイント減)でやや悪化が進んだ。

仕入単価が上昇し販売単価への価格転嫁が進まない製造業と建設業では資金繰りの悪化が進む。飲食業・サービス業は改善傾向である。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、全業種において当市のほうが資金繰りの状況が悪くなっている。

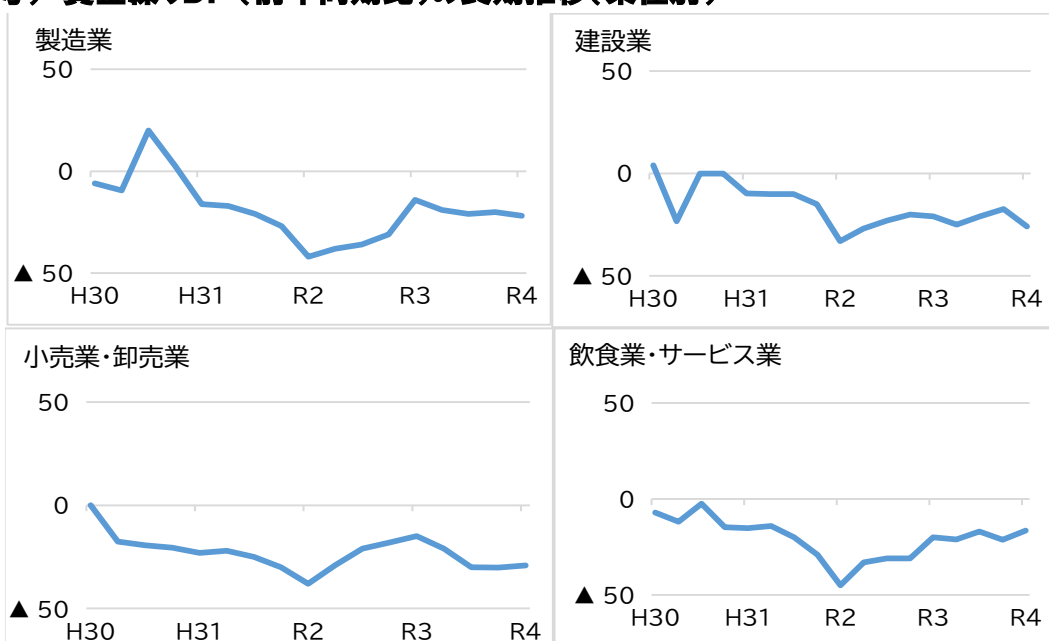
(令和元年4-6月期～令和4年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R4.4~R4.6)				次期見通し(R4.7~R4.9)			
			売上:増加 採算:資金、総 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	64	72	93	229	57	97	75	229
		構成比	28	31	41	▲13	25	42	33	▲8
	採算	サンプル数	29	77	123	229	37	102	90	229
		構成比	13	34	54	▲41	16	45	39	▲23
	仕入単価	サンプル数	0	26	203	229	1	52	176	229
		構成比	0	11	89	▲89	0	23	77	▲76
	販売単価	サンプル数	48	155	26	229	51	156	22	229
		構成比	21	68	11	10	22	68	10	13
	従業員	サンプル数	47	173	9	229	42	172	15	229
		構成比	21	76	4	17	18	75	7	12
資金繰り	サンプル数	12	155	62	229	14	162	53	229	
	構成比	5	68	27	▲22	6	71	23	▲17	
業況	サンプル数	27	104	98	229	27	123	79	229	
	構成比	12	45	43	▲31	12	54	34	▲23	
建設業	売上	サンプル数	24	60	63	147	21	68	58	147
		構成比	16	41	43	▲27	14	46	39	▲25
	採算	サンプル数	14	58	75	147	12	67	68	147
		構成比	10	39	51	▲41	8	46	46	▲38
	仕入単価	サンプル数	1	23	123	147	2	29	116	147
		構成比	1	16	84	▲83	1	20	79	▲78
	販売単価	サンプル数	15	105	27	147	27	92	28	147
		構成比	10	71	18	▲8	18	63	19	▲1
	従業員	サンプル数	41	102	4	147	43	100	4	147
		構成比	28	69	3	25	29	68	3	27
資金繰り	サンプル数	6	97	44	147	6	97	44	147	
	構成比	4	66	30	▲26	4	66	30	▲26	
業況	サンプル数	9	73	65	147	10	70	67	147	
	構成比	6	50	44	▲38	7	48	46	▲39	
小売業・卸売業	売上	サンプル数	28	47	69	144	23	67	54	144
		構成比	19	33	48	▲28	16	47	38	▲22
	採算	サンプル数	10	58	76	144	9	75	60	144
		構成比	7	40	53	▲46	6	52	42	▲35
	仕入単価	サンプル数	3	28	113	144	5	47	92	144
		構成比	2	19	78	▲76	3	33	64	▲60
	販売単価	サンプル数	57	67	20	144	45	80	19	144
		構成比	40	47	14	26	31	56	13	18
	従業員	サンプル数	26	113	5	144	20	120	4	144
		構成比	18	78	3	15	14	83	3	11
資金繰り	サンプル数	5	92	47	144	5	94	45	144	
	構成比	3	64	33	▲29	3	65	31	▲28	
業況	サンプル数	7	65	72	144	7	77	60	144	
	構成比	5	45	50	▲45	5	53	42	▲37	
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	79	163	140	382	88	188	106	382
		構成比	21	43	37	▲16	23	49	28	▲5
	採算	サンプル数	39	211	132	382	54	224	104	382
		構成比	10	55	35	▲24	14	59	27	▲13
	仕入単価	サンプル数	3	199	180	382	6	213	163	382
		構成比	1	52	47	▲46	2	56	43	▲41
	販売単価	サンプル数	62	285	35	382	42	303	37	382
		構成比	16	75	9	7	11	79	10	1
	従業員	サンプル数	80	292	10	382	76	295	11	382
		構成比	21	76	3	18	20	77	3	17
資金繰り	サンプル数	23	273	86	382	23	285	74	382	
	構成比	6	71	23	▲16	6	75	19	▲13	
業況	サンプル数	43	220	119	382	49	229	104	382	
	構成比	11	58	31	▲20	13	60	27	▲14	
全業種総合	売上	サンプル数	195	342	365	902	189	420	293	902
		構成比	22	38	40	▲19	21	47	32	▲12
	採算	サンプル数	92	404	406	902	112	468	322	902
		構成比	10	45	45	▲35	12	52	36	▲23
	仕入単価	サンプル数	7	276	619	902	14	341	547	902
		構成比	1	31	69	▲68	2	38	61	▲59
	販売単価	サンプル数	182	612	108	902	165	631	106	902
		構成比	20	68	12	8	18	70	12	7
	従業員	サンプル数	194	680	28	902	181	687	34	902
		構成比	22	75	3	18	20	76	4	16
資金繰り	サンプル数	46	617	239	902	48	638	216	902	
	構成比	5	68	26	▲21	5	71	24	▲19	
業況	サンプル数	86	462	354	902	93	499	310	902	
	構成比	10	51	39	▲30	10	55	34	▲24	

集計表(トピックス)

製造業
来年後半まで原油など高騰。【発泡スチロール加工】
予算の縮小。【消防被服製造卸】
閉塞感、仕入値上がりが激しい。価格転嫁できない。【機械加工】
部品問題が好転してくると経営が安定してくる。物流費含め、原材料の値上げが多岐に渡り色々な状況判断が難しい状態になっている。【無線機器の設計・生産・販売MOTOROLA無線機器の販売代理店、SOULNOTEオーディオの設計・生産・販売、カラオケ機器の設計・生産・販売、その他、ODM製品の受託】
部品供給不足からくる受注減。【塗料の製造、および販売】
部品の調達が困難。【精密機械の製造】
部品の仕入先が廃業や統合により入手が困難になってきている。特に納品日が未定のものが多く機械の製造が納品に間に合わないことが発生。売り上げにも影響が出始めている。【抵抗溶接機製造販売】
部品、材料等が数か月ごとに値上げになっている。【各種自動制御装置の設計、製作、施工等】
部品・部材の高騰。【スマート農機の開発、販売】
部材の納期遅れ。【製造装置(プリント基板)】
不況感がこの先まだつづくと思われる。【精密機械部品加工業】
不況による先行きが判らない。【光学ガラス加工、ボールレンズ、ロッドレンズ他】
半導体不足と材料不足。【工業用自動機の開発・製造・販売】
半導体の入手が昨年より困難になり、今年に入っても改善していません。【モータ用アンプの製造と販売】
半導体の制御盤の製作をしていますが、材料不足の為、難航しています。【制御盤の製作、ケーブル加工】
半導体ショックによる電気部品が入荷せず、売上が伸びない。【自動機械設計・製作販売】
半導体、仕入難、価格上昇。【医療機器、介護用品製造販売】
売上不振につき収益率の低下。【印刷業】
年末年始に引き合いや受注が活発になったが、コロナのオミクロン株拡大で1月半ば以降低調に戻った。更に2月末以降は戦争の影響で引き合いそのものが全く来なくなった。【単品・小ロットの加工部品治工具・試作・精密部品】
特に若手従業員の採用が出来ず、技能職の育成・継承に問題有。【非鉄金属の施盤加工(上水道継手、自動車部品、産業機械継手、他)】
当社3工業とも電気契約が高圧にて、契約先の一方的な契約打ち切りを受け、このままだと年600~700万のコスト増見込み。【精密板金業】
電子部品不足による、受注の減少。【プリント基板設計・電子部品実装】
電子部品の調達難と資金負担が課題。【光源装置の開発、製造、販売】
電気代が急騰。【金属製品加工】
注文は増加する予定している材料がなかなか入手困難です。【電源トランス、スイッチングトランス、低周波変成器、各種コイル制作】
中国上海のロックダウンの影響が受注の減少を招いている。今後の見通しも立たない状況にある。【電子部品製造販売】
中国のロックダウンの影響により、見込みの売上高が急減。【ボルトねじ製品製造】
短納期、材料の入手が出来るか。【金属挽物】
相対的には上昇。【半導体製造装置部品】
全ての資材の値上がりが客先に転換できていない。【木箱製造業、梱包】
全ての仕入れ材料等の高騰、輸入原材料の高騰(円安要因含む)。【角型紙管、ペーパーアングル等製造、吸着剤加工】
先行き不透明感が強い。【立体造形物製作(ディスプレイ業)】
世界的な材料費の高騰及び物流混乱の収束時期について。【産業用エンジン、発電用エンジン、発

電セット、ターボチャージャ】
新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンに半導体部品需要逼迫、世界情勢の不安定など複合的な要因で材料や仕入部品の大幅な価格高騰、アイテムの不足が著しい。販売価格に材料等の上昇分をスムーズに転嫁し、不足アイテムの代替品や新たな仕入先ルートの開拓が重要となる。【省力化装置及び溶接・組立治具の設計製作】
新型コロナウイルスに関する諸々の対応が増えている。【臨床検査薬の開発、製造、販売】
新しい案件がごく少ない、量産受注が減少、量産受注があっても、部品が入荷しない。【電子回路基板設計製造販売】
従業員の老齢化による馬力不足。材料／購入品等の高騰。大手、車メーカー様の減産による影響。【溶接治具、加工治具、検査治具、搬送装置等】
従業員が病気、その他自身の都合で退職して人員不足の為ハローワークに求人への申込をしているけれどなかなか見つからない。受注した仕事をこなすのが大変です。周り、社会の動向がよくない。【機器用トランクケースの内装製造、発砲ポリウレタンを使った緩衝材】
受発注の状況。【印刷】
受注状況不振、原油上昇に伴う資材費の高騰。【検品・梱包】
受注減少、部品供給不足、長納期による受注の停滞。【生産用機械器具・真空装置の製造、販売、メンテナンス】
社会全体的に品薄感があるようで、製品の確保に動いている業界が多く、入荷が不安定なのに品切れがあり急がされることが多い。対応する人員確保のために人件費が上がっていて利益率が下がっている。【各種製品の加工、検査及び包装】
資材、特にアルミ材の値上げが大きく影響。【車両、検査治具製造】
資材、原料材料の値上げはあってもなかなか売価の値上げに踏み切れてない。コロナの影響による来客数の変化(減少)に、改善が追いつかない。【豚肉加工品製造販売】
仕入単価の上昇が止まらない状況。原材料メーカーから一方的な値上げが続いており、価格に転嫁する交渉に苦慮している。仕入単価の上昇は国内外双方からであり、円安の影響も大きくでている状況。【粘着製品の企画、加工、販売】
仕入単価の上昇。【電磁弁・電動弁製造】
仕入単価の急上昇。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
仕入困難、納期の目途立たず。【通信用ケーブル】
仕入高高騰。【金属製品塗装業、メッキ処理】
仕入れ額の上昇がとても激しく倍になるものもでてきている。【弁当、惣菜等製造販売】
仕入れ価格の上昇、円安の影響を販売価格へどれだけ転嫁できるか。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】
仕入(電子部品)単価の上昇、納期の遅延。【電鉄変電所用計測装置の製造】
昨年後半からコロナの影響で海外からの仕入れの納期遅延が顕著になっていたが、今年はそれに加えて、3月頃からのウクライナ情勢もあってか受注についても伸び悩みの状況。さらに円安でドル建ての仕入価格値上がりプラス為替レートもコスト増に向かっている。それらにより後半は売上・利益とも先行きが一層不透明な状況。【空圧制御バルブの製造販売】
材料費等の高騰。【シャフト・フランジ・ブラケット】
材料費高騰、海外仕入れにおいての円安の影響が大きい。【ヨットのマスト設計、製造他】
材料費を含め各仕入れ品の値上げが売値の転嫁ができない。【車輛へのリフト製造、取付、販売】
材料費の高騰が止まらない。【精密板金加工】
材料費の高騰。【試作品(樹脂、金属)、金型成型】
材料費が上昇し続けているのに、受注単価のコストダウンを言われている。【鉄道関連信号機、通信機等の金属製品製造】
材料等の仕入れ単価が急激に上昇しており、加工後の販売価格に転嫁できず、利益率が低下している。また、創業以来の機械設備が過渡期を迎え老朽化が顕著に表れている。販売不振・利益率低下・経費増大・設備老朽化・設備機器経費高騰・・・経営環境としては良い材料がない。【軟質ウレ

タンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工
材料調達難により生産に時間がかかる。【産業用モータ制御装置】
材料単価が大きくなっています。【製造業】
材料単価、二次外注費の高騰。【精密板金加工】
材料価格上昇。【精密機械設計製作】
材料、物流費の高騰による収益率の低下。【テーブル溶接機的设计・製造・販売・メンテナンス】
今後の外国の状況。【精密部品加工業】
今までにない「急変」を体感している。原材料の高騰、受注量の変動(急にきたり、止まったり)。相変わらずの「人手不足」。仕入れ額が上がっても仕事が少ない為、仕入れが無い状態。受注がいつ入るか解らないし、人がいつ休む(コロナ等)か解らない状況の中で変なバランスが取れている感じがして気持ち悪い。【工業製品の塗装】
国内の購買力の低下。【段ボール製函紙器一式・包装資材製造販売】
顧客の資金繰り悪化による契約の延期が多い。【製缶板金】
雇用状況、工場作業者の新規雇用が難しい。【金属加工】
厳しいの一言。【食品】
原油高騰による仕入材料一斉値上げ15%~以上。【工業用銘板類】
原材料費の上昇。【金属部品切削加工】
原材料費の高騰・エネルギーコスト上昇を販売価格に反映できていない。【鋳造業】
原材料仕入価格の上昇。【金属表面処理加工業、①アルマイト加工、②フープ金めっき処理】
原材料の高騰及び原材料の供給不安。【電池部品製造】
原材料の高騰の影響が大きいです。【食品】
原材料に入手困難・仕入単価の上昇。材料入手困難による客先生産ライン計画の不安定による受注不安定。【測定機及び検査装置製造・梱包業】
見通しの不明確さ。【オフセット印刷物】
機械老朽化に伴い設備投資をしたく、金融機関に相談するものの、なかなか良い返事がいただけず、設備に苦慮しております。【精密機械部品加工】
開発能力の持続。【ダイカスト製品製造に役に立つ鋳造、補材の製造】
円高や世界情勢の不安等による原材料費の上昇や供給不足による売上機会の損失。【ショットブラストおよび塗装】
円安による仕入高騰。【キャンピングカー、自動車アクセサリ】
円安とコロナ、ウクライナなどの影響が、そろそろ解決していくと楽観している。【金属加工業】
円安・原料の高騰などによって商品への価格転嫁が急がれますが中々進まない状況です。【発泡スチロール加工】
為替・銅ベース・原油価格を主とした相場変動、および今後の動向。【電力機器、配電機器、免震・制振・制音デバイス、精密デバイス】
やっとコロナ禍から徐々に抜け出してこれからと言う時にロシアのウクライナ侵攻にて、先行き不安、買い控え、コスト上昇とお客様の財布は控えめ。今こそ日本産を国内でどんどん買って、食べてと地産地消で経済を回す「日本文化生産品購入割」のようなキャンペーンをしてほしい。【畳製作施工】
当社の製品については、普遍的要素が強く、特別な不況感は見えない。【輸送機器用部品製造加工】
コロナ禍前にいつ戻るのかずっと不安。【機械加工全般】
コロナの終息状況。【水産冷凍食品加工】
コロナで移動制限が有るため装置販売が出来ない。仕入れ単価上がと共に部品の入荷が悪化し装置の納品が遅れている。【シンプレス装置、真空洗浄機、スプレーコート装置】
コロナが落ち着き、受注が回復したが、まだ今後のコロナの状況に不安がある。まん延防止措置等が出れば一気に受注がストップするため、現状の人員不足でも雇用に踏み切れない。【FRP製造業】
これから仕入れ値が上がって行くので恐ろしい限りです。売上単価に反映できれば良いのでしょ

うが、顧客に理解して頂くにはなかなか難しい状況です。【工業製品塗装】
ウクライナ情勢、値上げなどの影響が出ている感じがします。【機械設計・製作】
アルミ材の仕入れが今後も可能か？ロシア問題による影響は？【アルミ製ビル向け手摺(落下防止フェンス)】
1)電子部品の調達難による手配コストと安定入手の懸念。2)コロナ禍に加えてロシアによるウクライナ侵攻で更に先行き不透明感が増した。【電子応用装置の設計・製造、防犯カメラ機器の販売】
材料の入手が困難&材料の値上がり①材料メーカーが中国で生産している為、ロックダウン等の影響により材料が入荷しない。②過去に発注している材料も入荷時には価格が引上げられる。顧客は値上げをなかなか認めない。①値上げを認めない顧客は取引を中止する。②結果、売上の減少の原因となる。【医療機器、制御機器、交通信号機器、温調機器などの小型トランス・コイルの製造販売】
受注の減少、諸経費の高騰。【金属熱処理】
自動車関連を中心とした大手メーカー生産調整の影響で思ったほど受注が伸びない。材料流通の目詰まり。【プリント基板穴あけ加工】
あらゆる仕入価格がUPしているため、販売価格へいかに転嫁するか。ロシアの戦争、中国の景気後退、仕入単価の上昇がどのように景気へ影響してくるか。【建設機械部品の製造】

建設業
半導体不足。【省エネ、エスコ事業】
半導体の不足により材料の入荷の遅延が生じ公共工事の工期が伸びてしまった。公共工事の現場代理人は名前を登録するため、不都合が生じてしまった。【土木工事業】
発注した商品の納期が2カ月かかる事、受注停止など。【リフォーム、空調工事】
特に変わらず。【通信設備の施工、管理・保守・機器・ソフトの販売】
鉄筋工事業界としては、建設現場の数が多い状況です。これからさらに物件数が増加し、労務不足になる予定です。新規引合いをいただいても工事が請け負えない状況です。また、材料の高騰が大きすぎ、かつ上昇速度が速すぎて請負金額に全てが反映できていないです。状況的にはかなり厳しい状況です。【鉄筋工事業】
相模原市の工事予算減。【交通安全施設設置業】
先行きに不透明感いしかなく、消費意欲が減退している。【住宅、リフォーム、工場、事務所】
税金が高いので国に何とかしてもらいたい。【電気工事業】
請け元自体の仕事が減少したため当社に仕事が流れて来ない状況です。回復しないと今後不安があります。【厨房設備工事】
新型コロナウイルスの影響でメーカー下請け製造の海外工場が稼働しなかったため製品が入荷しない。半導体不足やステンレス製品の不足により取扱製品がメーカーから入荷しない。引き合いはあるが、施工できない。材料価格の高騰。【ポンプ、送風機のメンテナンス】
新規雇用が非常に厳しい。【移動体基地局工事・保守】
従業員の不足。【防水工事】
従業員の高齢化。【電気工事】
受注が急激に減少している。【主に、外構工事、橋梁の上部工、高欄など防護柵工事など】
資材高騰。【総合建設】
資材価格高騰、品不足の影響あり。【建築工事業】
資材、組込部品の材料単価の上昇が著しい。輸送費の上昇、一部の海外輸入品で円安の影響あり。【クリーンルーム居宅介護支援】
仕入値すべてが値上り、加えて納期未定が多数あり、仕事にならない。【空調設備販売・施工】
仕入単価の上昇が心配。【外構工事】
仕入単価の上昇。【外構工事】
仕入単価の上昇。【大工工事業】
仕入単価の上昇。

仕入れの欠品について苦慮しています。(コロナ・半導体不足による)。【設備工事業】
材料等、ガソリンの値上り。
材料単価の上昇が採算を悪化させてきている。【土木工事業】
材料仕入が上がっている。【住宅リフォーム】
今の日本社会は、生産性の悪いものに手間暇を掛けすぎ？シンプル化したい。【管工事】
鋼材等の価格の異常な上昇で、積算当時との金額が合わず、対応に苦慮している。
雇用不振(特に若年層)、4月からの資材・建材の大幅値上げ、(原油高騰や物流価格高騰による)半導体不足による一部資材の納品遅れ。【総合建設工事における設計・施工・管理業務】
原材料価格の高騰。【カーテン】
原材料の高昇。【住宅建設リフォーム】
原材料コストの上昇がどこまで続くのか。【総合建設業】
建材、電材の品薄、単価上昇がいつまで続くのか不安を感じ始めている。退出後リフォーム工事が完了しても給湯器交換ができないために入居者募集ができない部屋が3月以降徐々に増えている。【賃貸管理、トランクルーム貸し出し、リフォーム工事、不動産売買仲介】
業界全般に慢性的な人手不足。コロナ禍で失業者が出ているにも関わらず、建設業界への入職を求める人がほとんどいない。【土木・舗装工事】
競合他社増加による競争激化により販売単価が下落したにも関わらず、燃料費高騰による仕入れ単価の増加で利益が出しづらい。【解体工事業】
各社値上げの傾向の為デフレ気味。単価をUPしてもこの業界は安い方向へ流れるため売り上げ増を狙っても利益が増えない・または減少の傾向。【エクステリアの工事販売】
下請工事単価上がらず。【土木工事業】
円安とロシアの戦争で原材料、燃料の高値が続くと景気が悪化する。コロナの感染をすると業務が停止する事が心配。【電気工事業】
依頼の増加に伴い、今後の人手不足を懸念している。【建築物の設計、耐震診断、耐震補強設計、工事監理】
ロシアからの木材等が入らなくなってきた関係で材料仕入単価が上昇している。先行きがわからない。ガソリン価格の高値も厳しい。【UR団地修繕】
スタグフレーションがすぐそこまで来ている気がして、何がトリガーに成ってしまうのか戦々恐々です。【管工事業】
コロナ前と比べて公共工事が減少している。【電気工事】
コロナ関連は収束していないが、世の中は動き始めているように感じられる。建設業界としては工事の受注も極端な減少はないが公共及び民間工事ともに競争が厳しい状況である。又、資機材・外注労務等が毎月のように値上げがあり、請負金額に転嫁出来ず、現場毎の収益を確保することも厳しい状況が続く見込みです。【土木建築の施工会社】
コロナの影響に加えてウクライナ進行など物流に大きな影響があり、仕入れ部品の欠品・高騰など今後に不安が残る。【道路工事】
コロナの影響で受注減少。【機械器具設置、とび土工事業、管工事】
コロナの影響で公共事業減少が続く。【公共事業】
コロナの影響で、海外依存している為、ロックダウンによる部品、商品の不足、商品不足での売上減少。【管工事業】
コロナ(上海のロックダウン)、ロシア・ウクライナの戦争により、生活上の物価も上昇する中、ガス湯沸かし器、他全ての材料が値上りして、お客様のお財布のひもがよりきつくなっています。営業が厳しい中、工事完了後の、値引き交渉も2割程増加しています。【給排水衛生設備工事、リフォーム業】
コスト高、人・材料・光熱費。【屋外広告(看板)】
エンドユーザは多業種に跨っているため好不況感を得難いです。マテハン業界自体は活況に見えます。働き手がなかなか見つからないです。【自動倉庫メンテナンス及びこれに付帯する事業、電気工事業】

小売業・卸売業
物価が上がり買い控えをしている様子。【パン製造、販売】
物が無い。【家電小売】
品不足と原材料高騰。【管工機材及び住宅設備機器】
半導体不足に伴い納品遅れが続いている。メーカーより軒並み価格改定(価格上昇)の通達に来ており、販売価格を上げざるを得ない。顧客の買い控えや購買意欲低下に繋がるのではないかと懸念している。従業員も不足しておりうまく業務が回っていない。今期は採用活動に力を入れていっている。新人の指導などで短期的に見れば投資が増えそうだが、長期的に見て会社が発展していくためには今が耐えどころ。【IT機器、オフィス家具、文具事務用品販売】
半導体等の部材不足による納期遅延が深刻。【車両販売及び修理】
半導体の不足や海外事情の悪化による金属価格の高騰から、納期の長期化と仕入れ価格の増加があり、収益に大きな影響が出ている。そこに企業や官庁の収益減少で物件が少ないことも重なり、先行きが見えない状態です。【業務用厨房機器】
売上は引き続き好調を維持しているが、原油価格高騰の影響から包装資材等の値上がりで費用は増加している。【健康食品の小売・卸し、主力商品名／玉葱皮茶】
配達を業務の中心としているため、熱料費高騰のダメージが大きい。ガソリン税の減税などを是非検討いただきたい。【朝日新聞、出前館配達業務】
熱処理、ショートブラスト装置のメンテナンス(工事)増加、仕上価格の上昇分客先が認めてくれた(値上了承)。【鑄造副資材卸、ショートブラスト、熱処理装置メンテナンス】
電気料金などの経費の上昇、世界状況よりの仕入れ価格の上昇、海外製品の納品遅れ。【食品・衣料品・暮らしと住まいの品・日用雑貨品を取り扱う総合小売業】
長引く原油高。【石油製品販売】
長いコロナ禍の中若干の景気回復(海外)が感じられるも仕入れ価格の上昇で著しい利益率の低下。【各種光学レンズ輸出】
大型店への集客数が軒並み少ない。【生花の委託販売】
大型店・チェーン店・インターネットで購入をされる方が増えている。【自転車販売・修理業】
製品、部品の調達が困難。【機械工具販売】
生鮮食料品を取り扱うので、天候に左右されます。夏にかけてラニーニャ現象が続く可能性が高いという発表なので心配しています。【生鮮野菜卸売】
世情、円安等による多くの商品が値上げとなりお客様は非常に価格に敏感になっています。新型コロナ影響は落ち着いた傾向です。低迷が続いた衣料品、住居関連商品が上向きとなりました。【衣料、住まいの品、食品】
新車納期が不安定なためか、中古車の仕入れがあがり顧客の買い控えが増えています。【自動車販売】
新型コロナ禍の反動値。【食料品、生活用品】
新型コロナウィルス、コストプッシュの影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】
商品価格が仕入れ・販売ともに上昇傾向にある中、今まで以上にユーザーは価格に敏感になっている。【中古自動車及び自動車部品の販売・修理】
諸物価高騰による消費者購買意欲の低下。【メガネ・コンタクト・補聴器販売】
春～秋、仕入単価の上昇。得意先売上の回復がいまひとつ良くない。【酒類販売業】
車のEV化にて大幅なマイナスがある。【自動車部品】
仕入単価の値上げ品不足。
仕入単価の上昇。購入部品(特に電子部品)の納期がかかる。【空気圧機器の卸売り(一部製造あり)、油水分離機の卸売り】
仕入単価が上がりましたが、販売価格は据え置きなので厳しいです。【自動車販売、修理】
仕入価格が上昇しているのに対し販売価格は余り上げられない状況なので、利益率の低下が特に心配です。【射出成形機及び周辺機器、金型の卸売販売、自社開発製品事業】
仕入れ品の納期遅れ。【家電品販売、電気工事】
仕入れ単価の高騰は昨年から続いています。販売単価は、中々値上げ出来ない状況もあり利益

率は下がる一方である。また、食料品や生活インフラの値上げラッシュにより、今後も被服費の消費は大きく低下してゆくと危惧している。【アパレル雑貨、古物】
仕入れ価格の上昇。【墓石販売、仏具販売】
材料の元請支給が多くなってきた。【建設材料販売】
好転している。【中古車販売(輸出を含む)】
顧客の買い意欲は強いが、希望の作品の入手が難しい。【美術品の売買】
個人消費の冷え込みが懸念される。【中古車販売・修理】
個人、企業のイベント開催は戻りつつあるが、コロナ前の規模に戻るにはまだ時間がかかるため、売上は頭打ちの状態。【贈答品、ギフト】
原材料価格の異常な高騰。【介護用食品の開発&販売】
継続的ですが個人ユーザーの高齢化に伴う、ユーザーの減少と、新規ユーザーの獲得をどうしていくか。【24時間風呂、業務用風呂用ろ過保温装置、機器販売・消耗品販売・修理・メンテナンス】
金融機関のしめつけが強く、融資が思うように出来ない。【健康食品】
客単価に変化なし。【衣類販売】
家飲み需要の減少。【食料品、衣料の販売】
夏に向けて、個人向け機器の売上の減少、コロナが改善して消費が他に向かっている。【24時間風呂(風呂ろ過装置)機器販売・消耗品販売・修理・メンテナンス】
円高。【LPガス、灯油、リフォーム】
円安の影響による仕入単価、輸入諸経費の高騰。【電子黒板(白板家)の販売、保守・アミューズメント機器の開発、設計、製造・電子部品・ユニット品の輸入販売、保守】
円安。【卸売業】
メーカーでの欠品商品の増加(売りたいものが品不足)。【小売業】
どうする、With Corona。【たばこ、酒、飲料、toto】
コロナ生活からの解放による週末の客数が減るのではないかと推測される。【GMS】
コロナ感染が落ち着きつつあるので、夏のイベントや、帰省需要など、昨年より好転する期待を持っています。世の中一般の物価上昇が、消費者心理にマイナス作用することが懸念材料です。【米菓製造販売】
コロナ禍によって出かけることが減り、衣料品は安くても良いとの認識が広まっている。【衣類、化粧品】
コロナ影響大にて来客数不調。【小売業】
コロナ影響が大きい。【溶接機・工作機械・産業機械の輸入販売】
コロナやウクライナ危機による物流の停滞で、業績悪化。【非鉄金属売買】
コロナに続き、ロシア問題など不安定な世界になり、消費者の購入意欲の低下。また、物価が上がり、さらに追い打ちをかけている。【空気触媒製品】
コロナで客の流れが変わり、中国のコロナ政策のロックダウン、ウクライナ、ロシアの情勢、船が大幅に遅れ、商品は欠品、物価は上がる。悪い連鎖が続いている。【卸売業】
コロナウイルスからのロックダウン、ウクライナ情勢により商品が通常の時に入ってこないため売れる状況なのに売れない。【住宅設備機器卸売業】
エネルギー価格、小麦、飼料等の価格上昇を受け、仕入れ価格の上昇が見られる他、客単価の減少が見られるなど、個人消費の低迷が感じ取られる。【物産品販売】
イベントもなく、もう3年、商品の入荷もこの先どうなっていくのか不安です。【家電販売】
SNS時代に中々ついていけない。【化粧品、エステ技術等】

飲食業・サービス業
旅行需要の回復が始まっていますが、マイクロツーリズムの流れが強く販売単価は低い。また海外旅行は戻っていない。【旅行業】
利用者が減り完全に戻ってきていない。利用者減、経費が増加で収益率が低下している。利用者確保のため営業活動を強化する必要がある。【介護、福祉、医療】
来年の食糧危機。【社会保険労務士業】

来店客の減少。【美容業】
優秀な人材を育てたい。【便利屋業、遺品整理、不用品回収】
夜の営業時間での売上が伸びない。人がいない。【ラーメン店】
法人需要がほぼ無くなり、コロナ前の70%位の売上がしばらく続くと思われる。コロナ感染者数が今後どこまで減少するかで状況は変わると思います。また円安、ウクライナなどの影響による原油の値上りで光熱費の上昇、食材の値上りなど今後厳しい経営環境が続き店舗力経営力が問われるかと思えます。
保険診療が中心のため、特に問題点はない。【訪問診療と外来診療による医療の提供】
物資の価格上昇と金利先高感により消費者心理が減衰している。そのため、不動産売買流通にも減衰感が出始め過剰仕入を戒めていかないと会社存続に関わる事を感じる。【不動産売買・仲介・管理・コンサル】
物価上昇に対して、料金価格を上げられない。【理容業】
物価上昇による経費の上昇の懸念。【観葉植物レンタル】
物価高で良くなる傾向が見られない。【不動産業】
物価の上昇・高騰。【バー】
不透明な経済情勢。【行政書士業コンサルタント業】
非鉄金属相場が高く、取扱量が維持できれば収益は確保できる見込み。【産業廃棄物処理、非鉄金属原料販売】
半導体不足により、生活に必要な設備関係が入手できず、入居者の要望に対応できない。【不動産賃貸管理、仲介、売買】
売上高の回復傾向。前々期並みに回復してきている。【ばちんこ店】
売上は変わらないが、諸経費などが上がってきている。【理美容業】
売上が伸び悩んでいる。新規は前年並みだが、既存の離脱が増えている。特に美容系患者の減少（新規・既存ともに）。【鍼灸院】
売上。【保険代理店】
燃料費等高騰等。【総合物流業】
燃料費の高騰がいつまで続くが不透明。【廃棄物収集運搬】
燃料高騰！！尋常でない！！【自動車部品】
燃料の値上がり、資機材販売単価上昇。【高圧洗浄作業】
燃料の高騰。【鋼材、機械部品】
燃料その他がすべて値上がりしており運賃転嫁を進めているがなかなか思うようにいかない。【建設機械部品・一般雑貨】
特に、客足が戻らない。【美容業】
電気代の上昇を転化できていない。【テナント貸し】
電気・燃料費の上昇。【廃棄物】
長期間に渡る多人数での飲食規制の影響は大きく売上不振となった。コロナ規制の不景気回復力は弱く、中々元には戻らない。【中国料理を主とした飲食業】
総合的に不変である。【ソフトウェア開発の業務委託、請負技術者派遣】
全体的に消費者の動きが鈍い。【学習塾、通信制高校サポート校】
設計受託業務が引き続き減少傾向にある。固定費削減が課題。【設計受託・請負業務・労働者派遣事業・求職者支援訓練事業】
世情変化により物資の供給が困難になり商品サービスの提供がスムーズでなくなった？【カーコーティング、カーフィルム、板金塗装の専門店】
世界の政情不安やグローバル経済の翳りが新型コロナウイルスによるパンデミックやロシアによるウクライナ侵攻と云う世界秩序の崩壊につながる現象の登場により冷戦後のこれまでのレジームがピリオドを打ち、新たなレジームを望む世界の声現実味を帯びて聞こえてきたような気がします。そのような中で我が国の体制はどのような対応が取れるのか、我が国の国力でこの時世を乗り切れるのか生産者も消費者も国民の皆が不安に陥っているような気がします。不動産に関してもその所有に対する価値観の変化が起きてきているようです。これ以上の金融不安や

<p>政情不安が積み重なると島国日本はどこに光を見出せるのでしょうか？せめて、国民の避難できる場所ぐらい作って頂きたいものと痛感しております。いつまでたっても、「人は石垣」でしょうか。【土地・建物の売買、仲介、土地建物の賃貸の仲介及び受託管理、不動産の活用に関するコンサルティング、不動産に係る事業に関するコンサルティング】</p>
<p>人手が以前には戻らない。【飲食店経営】</p>
<p>人材不足(職務経験者)。【設計技術支援業】</p>
<p>人材不足。【税務書類の作成】</p>
<p>人材不足。【福祉サービス業】</p>
<p>人員募集に係わる経費、コロナ感染症の関係の衛生費が増大。【福祉施設業】</p>
<p>新型コロナウイルスの規制が緩和され、同時に各支援策が少なくなり全体的に動きが鈍くなっているのではないかと。我慢比べの状態が続いている。【不動産賃貸業】</p>
<p>新型コロナウイルスによる景気後退。【電気保安管理サービス、電力コンサルティング】</p>
<p>新規案件開拓。【情報処理、DXシステム提案】</p>
<p>新しいプロジェクトに積極的に取り組む。【写真撮影】</p>
<p>常に募集をしているが、なかなか雇用できない。【一般貨物自動車運送】</p>
<p>消費者の生活習慣がコロナ前に戻らない。【珈琲専門店】</p>
<p>少しずつ好転に向かっている。【ホテル】</p>
<p>諸物の高騰により、景気の悪化、ロシアとウクライナ戦争の終結。【清掃用具及び衛生関連商品、清掃、家事代行】</p>
<p>重要な資材の納期遅延が深刻、このため事業計画全体が遅延しつつある。特に中国でしか生産していない金属材料が止まる恐れがあり、事業継続のリスクにまでつながる恐れあり。なお、国内メーカーは事業撤退しているため、再開してほしいが、現状は望み薄。【エネルギー変換素子の研究開発】</p>
<p>従業員の不足が継続している。【賃貸アパート管理】</p>
<p>収益低下が続く、従業員の給与をアップさせる事ができない状況にある。【建築用資材運搬】</p>
<p>受注減少。【専門・技術サービス業】</p>
<p>主要材料値上げラッシュ続々。【やきとり、からあげ専門店】</p>
<p>事業復活支援金に依存している傾向がある。【その他のサービス業】</p>
<p>私立小中学校の耐震対策工事の減少。【ICTコンサルティング、ICTシステムサポート】</p>
<p>仕入値の上昇が深刻。周辺設備投資の減少による需要不足。【ビジネスホテル】</p>
<p>仕入先の食品や消耗品の値上げが目立つ。【移動販売(コーヒー)】</p>
<p>仕入れ単価上昇、材料の欠品。【飲食店運営、弁当惣菜製造販売】</p>
<p>仕入のコストが上昇。【定食】</p>
<p>昨年度と状況が全く違う。【不動産売買仲介】</p>
<p>昨年、国家予算の2年分近くを使ったと判断しているので、この先が不安です。【賃貸不動産の管理業務】</p>
<p>採用が年々厳しくなってきた。【人材派遣業】</p>
<p>最近の消費者動向。【アパート・事務所・店舗・工場・駐車場・一戸建の賃貸】</p>
<p>今年の3月決算の大手企業の営業成績は黒字が多かったと報道されていましたが、下請け会社には、その恩恵を受けていないのではと感じます。【梱包業】</p>
<p>今後物価があがり、販売に対する利益がつれて向上すれば、全国平均給与もあがり物がうれるようになれば良い。景気循環になり世界の中で遅れていた日本経済も好転すると思います。【障害福祉サービス:障害者の就労支援】</p>
<p>今なお、予断を許さない社会状況です。新型コロナウイルスの変異型及び感染症が、今後どの様に社会に与える影響が出てくるのか非常に不安です。更には、近代社会に於ける戦争について、原材料費やガソリン価格等、企業を脅かせる材料しか御座いません。国は、足元の中小企業に対する、確固たる信念のもと、守って欲しいと感じています。【墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石材特殊清掃】</p>
<p>高齢化。【理容全般】</p>

顧問先の景気動向が気になります。【税理士業、社労士業】
雇用状況。【給食委託】
雇用に関しては他業種からの流入が多いと感じています。これ以上最低賃金が上昇してしまうと、一人当たりの業務負担の増加が見込まれ、適切な介護人員の確保が困難になってしまうことが懸念されます。【介護事業】
原材料高騰による景気への影響。【中小企業金融】
原材料の高騰を始め、電気代などの光熱費など上がり幅が大きく、しかもまだ上がる傾向。【パン製造販売】
原材料コストの上昇とともに、すべての調達コストが上がっているため収益性は悪化の一途。半導体の不足が原因で、機械部品、車両、事務機器に至るまで納期が読めず困惑している。【再生資源卸売、廃棄物処理】
建築資材等の高騰。【宅地建物取引業、賃貸仲介管理、売買管理】
建築材料の高騰、入荷の遅れ。【建築設計事務所とタイアップし、附帯設備(電気・給排水・空調・換気設備等)】
景気感は良くない。お客様の投資意欲が低下気味。【Webシステム、HP作成】
業種柄売上は年間を通して安定している。今後の入札結果にもよるが、ほぼ前年並みに推移すると思われる。数年前から官庁物件からの脱皮に努めており、入札による浮き沈みを抑えている。収益的には無謀な最賃引き上げによる収益悪化は深刻な状況にある。【清掃・警備・設備保守】
業種柄、売上・収益共年間を通し安定推移している。ただし、最賃改定は毎年じわじわと収益を圧迫しており、契約金に転嫁すべく努力をしていますが簡単にはいかない。【その他のサービス業】
雇用状況はコロナ禍の影響で他職種からの転職者もおり人員的には確保が容易である。【清掃・警備・設備保守】
業界の不振、有望な技術分野に力を入れている。【金属の凝固シミュレーション・システムの開発、販売】
競合、激しい。【専門・技術サービス業】
休みをとりながら、ようやく業績が安定してきた。【全体の施術】
客足が思ったよりも戻らない。【食べ物、飲み物】
企業の販促活動が盛り上がらない。販促ツールの製作依頼が低迷している。【グラフィックデザイン・編集・印刷・サイン・ホームページ制作等】
海外宛小包が発送出来ない。【郵便、貯金】
何もかも値上げの中、単価がなかなか上げづらい。【ビル、ハウスクリーニング】
円安が、ロシアによるウクライナへの侵攻によるもろもろの物価価格が上昇すること。【宅地分譲販売、建売住宅、土地建物仲介、及び管理】
円安、戦争などで仕入単価の急上昇と輸出が止まる。【輸出用梱包、木箱、パレット、作成】
飲み会が無くなった。【居酒屋】
為替の影響大。【エアコンプレッサーの販売・メンテナンス業務】
ロシア侵攻による影響、コロナウイルスの動向。【インキュベータの運営】
ロシア／ウクライナ危機に伴うエネルギーの値上がりにより、光熱費の負担が増える事が考えられる。感染者が高止まりしていますが、少しずつ経済が動いている様に思います。【美容業】
リーダークラスの社員が不足している。【ソフトウェア開発】
ヘルパーの人手不足に苦慮しています。【訪問介護事業】
ネット販売などで店販商品が減少しているようです。【美容業】
ダンス用品等が全て値上げしているため、レッスン価格は値上げできない状況であること。【社交ダンス教室】
スタグフレーションの懸念。【証券業】
さまざま値上げやコロナ禍の様子見に伴い、体のメンテナンスは後回しにされる傾向にある。【リラクゼーション業】
コロナ後の景気上昇を期待。【健康増進のためのトレーニングジム】
コロナ感染者数により、お客様の変動。【ネイルサロン】

コロナ感染の長期化、収束が見えない中で顧客の販促経費の削減。幅広い品種の値上げによる、消費動向の低下。【総合広告代理店、紙媒体、サイン全般、Web関連、イベント企画運営等】
コロナ感染。【障害福祉サービス事業、給付金】
コロナ禍の影響で来客数激減し、収益の大悪化！【金券ショップ】
コロナ禍の影響が次第になくなっているものの価値観が戻らず苦戦。【葬祭業】
コロナ禍の不振。【理容業】
コロナ禍の為、外国からの稽古留学がありません。【合気道道場】
コロナ禍による政府・自治体の緊急事態宣言等の解除以降は、外出等の緩和により、我々の業界も通常時ほどには及ばないが持ち直している。半面少子化等による採用難が課題で特にパートアルバイトの確保が厳しい状況となっている。【レンタカー・カーリース】
コロナ禍での健康的な屋外スポーツとしてのゴルフ人気は引き続き好調であるが、新規入会申込者は、非常に高水準だった昨年に比べるとペースダウンしている。来場者好調で収入面では助かっているが、円安とロシア事情の煽りで、電力・ガス料金が大きく高騰しており、夏以降のリスク要因。サプライチェーンの問題も非常に心配しており、建築資材や素材の調達が困難になりつつある。バンカーの砂なども追加手配に支障が出始めている。【会員制ゴルフクラブの運営】
コロナ禍からの好転はいつになるか。【葬祭、仏壇販売】
コロナ渦において、大手企業の業績が伸びているのに対して、中小企業の業績が伸び悩んでいるような感覚で、景気観が感じられない。【輸出梱包、国内梱包、梱包用木箱の製造販売】
コロナの影響でオンライン化が進みつつある。【小・中高生の学習指導】
コロナにより、集まりが制限されている。【障害児通所施設】
コロナとウクライナでの戦争の影響で、今後の予測が非常に困難になっている。【コンサルタント事業】
コロナで耐えてきたことに対する消費は感じるが景気感はいくつかよくない。【IT関連サービス】
コロナでの影響で得意先を新規開拓していかないといけないが、なかなかうまくいかない。【ホームページ作成、イラスト制作、ロゴデザイン制作、広告デザイン制作】
コロナが落ち着き始めているが、消費者の行動も以前と変わらず落ち着いている。【鍼灸院整骨院】
コロナが収まらないながらも落ち着いてきているので人の動きもあり利用が増えて行ってくれと良いと思います。【通所介護】
コロナ、戦争、災害の影響。【ポンプ、送風機、モートル修繕、販売】
これまで、新型コロナウイルスの影響で停滞していた状況から社会が動き出しつつある中、楽観視することなく、テナントの経営状況等中止する必要があると感じている。また、今後、同様の事態にも対応できるよう、テナント構成等見直しをしていかなければならないと考えている。【不動産賃貸業】
この先が不安。【和食、そば、うどん】
このような状況下で賃上げをかんがえなければならないこと。【ビルメンテナンス業】
ここ数年社会状況の変化に対応が遅れ赤字決算が続いたが、事業の見直しと改善策が整い、黒字を確保できる見込み。コロナやロシアなど国内のみでなく社会情勢を注意深く観察し、常に先手を打って対応することが重要。【自動車関連、新車中古車販売、車検整備及び整備全般、板金塗装、ロードサービス、自動車及び部品等輸出、オークション代行、損害保険代理店】
ここに来て、社内で新型コロナウイルス感染陽性者が出て活動を一時中止せざるを得なくなり、損失が出て収益に多少影響が出ている。【サッカーを主にしたスポーツクラブの運営】
クライアントが抱えている懸念事項、・資源・エネルギー高騰、・金属や電子・電気部品のサプライチェーン混乱、・ロット当たり生産量の減少。【プレス機械関係自動化・安全化技術の支援、並びに品質および環境マネジメントシステムの小社・管理支援】
ガソリン値上げが移動の多い仕事なのでキツイ。【音楽スクール、イベント企画運営、楽曲提供】
ガソリン価格。【航空写真測量】
ウクライナ問題、コロナの影響で全ての仕入れ物価の上昇が凄いです。【飲食店】
ウクライナ情勢、輸送の遅れ。【建設機械修理】

イベントが壊滅的に少なくなりました。【動画制作、配信】
covid19の感染動向、ロシアによるウクライナ侵攻、世界経済等不透明要素が多く不安。【機械部品、電気設備、等】
物価の上昇が起因し、消費経済に敏感になっている。【経営コンサルタント業、生命保険、損害保険代理店】
半導体不足による調達遅延・ウクライナ情勢による景気動向・円安傾向による製造業の景気動向。【システム開発・制御系アプリケーション開発・組込みソフト・画像処理・AI・ロボット制御、人材派遣業、人材紹介業】
半導体不足が仕入れ値に直結している。上海のロックダウンにより仕入れの遅れが目立つ。【パソコン修理】
障害福祉サービス事業において、レストランチャリティの店舗の客足が戻ってきたが、仕入単価が上昇しているため、値上げ等行うか迷っている。従業員の採用を予定しているが人材が集まらない。【障害福祉事業、障害福祉サービスの提供】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=902)

	回答割合	
売上不振	38.2%	345
受注単価・販売価格の低下	9.8%	88
収益率の低下	32.4%	292
個人消費の低迷	15.4%	139
販売先の減少	9.3%	84
大型店の進出	1.0%	9
チェーン店等との競争激化	2.4%	22
公共工事の減少	3.7%	33
民間工事の減少	6.1%	55
仕入単価の上昇	51.4%	464
円安の影響	11.5%	104
円高の影響	2.1%	19
代金回収困難	0.9%	8
諸経費の増加	19.6%	177
従業員(含、臨時)が過剰	1.3%	12
従業員(含、臨時)が不足	22.3%	201
設備不足・老朽化	9.5%	86
特になし	5.4%	49

製造業

今回調査を見ると、「仕入単価の上昇」が引き続き増加、「円安の影響」も急増している。「受注単価・販売価格の定価」や「従業員が不足」が減少した。資材・部品不足に加えて円安に苦しんでいる状況が現れている。

	R3年4~6月 n=261	R3年7~9月 n=261	R3年10~12月 n=224	R4年1~3月 n=214	今回調査 n=229
売上不振	56.3%	51.4%	46.9%	46.7%	43.2%
受注単価・販売価格の低下	27.6%	18.0%	12.9%	13.1%	11.4%
収益率の低下	5.7%	35.9%	33.0%	35.5%	38.4%
個人消費の低迷	11.1%	6.1%	3.1%	4.2%	2.6%
販売先の減少	0.4%	11.4%	12.5%	6.5%	8.3%
大型店の進出	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%
チェーン店等との競争激化	3.8%	0.4%	0.9%	0.5%	0.0%
公共工事の減少	5.4%	1.6%	1.8%	0.5%	0.9%
民間工事の減少	36.4%	2.4%	1.8%	0.9%	2.6%
仕入単価の上昇	2.3%	47.8%	61.6%	65.0%	70.7%
円安の影響	0.4%	2.0%	6.3%	5.1%	18.8%
円高の影響	1.5%	1.2%	0.4%	1.4%	2.6%
代金回収困難	14.9%	2.4%	1.3%	0.9%	0.4%
諸経費の増加	3.4%	13.1%	16.1%	19.6%	21.4%
従業員(含、臨時)が過剰	11.9%	2.0%	1.3%	1.4%	2.2%
従業員(含、臨時)が不足	23.4%	16.7%	21.4%	21.0%	17.5%
設備不足・老朽化	5.7%	20.8%	16.1%	15.9%	11.4%
特になし	5.7%	4.1%	2.7%	2.3%	1.7%

経営上の問題点（業種別）

建設業

「仕入単価の上昇」が引き続き増加し、「受注単価・販売単価の低下」、「収益性の低下」も増加した。「売上不振」が減少しており、案件があるにも関わらず、資材が不足・高騰し、収益性を圧迫している状況が現れている。

	R3年4~6月 n=182	R3年7~9月 n=182	R3年10~12月 n=184	R4年1~3月 n=144	今回調査 n=147
売上不振	40.1%	34.3%	34.8%	31.3%	21.8%
受注単価・販売価格の低下	33.0%	17.5%	19.6%	17.4%	21.8%
収益率の低下	9.3%	27.7%	29.9%	34.0%	40.1%
個人消費の低迷	6.0%	7.2%	5.4%	5.6%	6.1%
販売先の減少	0.5%	7.8%	5.4%	4.2%	5.4%
大型店の進出	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	20.9%	1.8%	2.2%	0.7%	0.7%
公共工事の減少	30.2%	18.7%	19.6%	20.8%	15.6%
民間工事の減少	27.5%	28.3%	21.2%	22.2%	21.1%
仕入単価の上昇	4.4%	36.1%	46.2%	53.5%	66.7%
円安の影響	1.1%	0.0%	3.3%	2.8%	6.1%
円高の影響	2.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.7%
代金回収困難	9.9%	3.0%	0.5%	1.4%	0.0%
諸経費の増加	1.1%	13.9%	15.2%	15.3%	15.6%
従業員（含、臨時）が過剰	29.7%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	8.2%	30.1%	31.5%	30.6%	29.3%
設備不足・老朽化	1.6%	4.8%	6.0%	5.6%	3.4%
特になし	2.7%	4.2%	7.1%	3.5%	0.7%

小売業・卸売業

「仕入単価の上昇」が引き続き増加し、「円安の影響」も増加している。「収益性の低下」、「受注単価・販売単価の低下」、「個人消費の低迷」、「設備不足・老朽化」は減少した。仕入れ価格上昇分の価格転嫁は若干進み、収益性低下には歯止めがかかりつつあるようである。

	R3年4~6月 n=134	R3年7~9月 n=166	R3年10~12月 n=158	R4年1~3月 n=129	今回調査 n=144
売上不振	53.6%	51.5%	51.9%	47.3%	49.3%
受注単価・販売価格の低下	27.7%	8.3%	12.0%	8.5%	5.6%
収益率の低下	36.1%	34.9%	34.8%	38.0%	32.6%
個人消費の低迷	20.5%	32.0%	29.7%	34.9%	29.2%
販売先の減少	9.0%	24.3%	21.5%	17.8%	16.7%
大型店の進出	9.0%	3.0%	3.2%	3.9%	2.8%
チェーン店等との競争激化	2.4%	10.1%	10.1%	8.5%	9.0%
公共工事の減少	1.8%	4.1%	2.5%	0.8%	0.7%
民間工事の減少	22.3%	5.9%	2.5%	0.0%	3.5%
仕入単価の上昇	3.6%	35.5%	33.5%	49.6%	54.2%
円安の影響	0.0%	3.0%	6.3%	6.2%	11.8%
円高の影響	3.0%	0.6%	0.6%	0.0%	3.5%
代金回収困難	11.4%	2.4%	3.2%	1.6%	0.7%
諸経費の増加	4.2%	13.0%	20.9%	16.3%	13.9%
従業員（含、臨時）が過剰	9.6%	0.6%	1.9%	0.0%	0.7%
従業員（含、臨時）が不足	13.9%	9.5%	12.7%	12.4%	13.2%
設備不足・老朽化	4.8%	8.9%	5.7%	12.4%	6.3%
特になし	5.4%	6.5%	6.3%	3.1%	3.5%

経営上の問題点（業種別）

飲食業・サービス業

「仕入単価の上昇」、「円安の影響」が増加し、「売上不振」、「収益率の低下」、「販売先の減少」が減少した。売上、収益性ともに他業種に比べると改善が進んでいるようである。仕入れ額が少ない業種が多いため、円安や材料高騰の影響は受けにくいようである。

	R3年4~6月 n=418	R3年7~9月 n=418	R3年10~12月 n=418	R4年1~3月 n=353	今回調査 n=382
売上不振	46.9%	44.0%	39.6%	42.8%	37.4%
受注単価・販売価格の低下	23.7%	8.0%	8.6%	7.1%	5.8%
収益率の低下	22.0%	27.3%	27.3%	29.7%	25.7%
個人消費の低迷	14.4%	25.3%	19.2%	19.3%	21.5%
販売先の減少	2.9%	13.8%	9.1%	12.7%	8.6%
大型店の進出	1.0%	1.3%	1.0%	0.6%	1.0%
チェーン店等との競争激化	5.3%	3.0%	2.5%	2.5%	2.1%
公共工事の減少	5.0%	4.8%	2.0%	2.0%	1.8%
民間工事の減少	12.7%	4.5%	2.0%	2.5%	3.4%
仕入単価の上昇	1.4%	16.3%	26.0%	26.3%	33.0%
円安の影響	0.2%	0.3%	2.3%	1.1%	9.2%
円高の影響	2.6%	0.0%	0.0%	0.3%	1.8%
代金回収困難	17.2%	2.0%	1.5%	1.4%	1.6%
諸経費の増加	5.3%	15.3%	20.5%	25.5%	22.3%
従業員（含、臨時）が過剰	15.8%	1.8%	1.3%	2.0%	1.6%
従業員（含、臨時）が不足	16.0%	23.0%	29.3%	23.5%	25.9%
設備不足・老朽化	14.6%	13.8%	12.1%	12.2%	12.0%
特になし	13.2%	11.3%	14.4%	8.8%	10.2%